

社会医療法人厚生会中部国際医療センター

病院の概要

開設時期：昭和28年
 開設者：社会医療法人厚生会
 院長名：出口 隆
 病床数：502床
 標榜科：内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、内分泌代謝内科、呼吸器内科、血液内科、神経内科、外科、心臓血管外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、形成外科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、緩和ケア科、病理診断科、リハビリテーション科、救急科、総合診療科、精神科、腫瘍精神科、臨床検査科、歯科口腔外科

医師数：158名
 指導医師数：67名
 外来患者数：1,080名/日
 入院患者数：454名/日
 所在地：美濃加茂市健康のまち一丁目1番地
 URL：https://cjmhc-hp.jp/



病院の特徴

「地域の、日本の、世界の医療拠点へ」

「全ては病める人のために」という理念のもと、2022年1月に「中部国際医療センター」として新たなスタートを切りました。「中部国際医療センター」という名前には、「世界に通用するハイレベルな医療を提供する」という決意が込められています。そのために、新しい医療機器や質の高いスタッフ、充実した設備を配した医療体制を整え、満足度の高い医療を提供します。地域の健康を守る新たな拠点「健康のまち一丁目1番地」で、健康診断から高度な治療、病後のヘルスサポートまで「健康」を幅広くサポートすることで、地域の皆さんを支えています。

院長メッセージ



出口 隆

地域医療の場において医師には多くの期待が寄せられていますが、是非とも研修期間中に組織の一員として、病院全体の運営状況にも興味を持って学んでいただきたいと思います。それが将来的に独り立ちする時の貴重な財産として大いに役立つものと思います。多くの方が目指す専門分野も医療全体の中の一部であり、医療をとりまく社会環境も分からなければ、その専門性は十分に達成されないばかりでなく、地域住民や社会に受け入れられないこととなります。そのため組織における研修医という立場にあって自らを律し、かつ、自己の能力を啓発して、自己目標を存分に達成することが期待されます。研修医には「医療とは何か?」「医師として何が必要か?」の問題意識を常に持ち、自身の医師としての評価をさらに高めるように努力していただきたいと思います。

指導医メッセージ

中部国際医療センターは、2022年1月に旧木沢記念病院より移転して誕生した新しい急性期病院です。岐阜県中濃地域の中核病院として機能し、多数の救急搬送の受け入れ、またヘリポートも併設し、遠隔の医療機関から重症症例の受け入れも積極的に行っております。旧木沢記念病院より引き継いだ充実した指導体制・指導管理体制、さらに陽子線治療装置をはじめとした豊富な医療資源を持ちます。勉強会・当直カンファレンスを定期的に開催し、皆さんの総合力向上および重要症例の共有を図っています。またネイティブによる英会話教室も毎週開催しており、医師として必須である語学力向上に貢献出来ると思います。ぜひ、医師としての第一歩を中部国際医療センターで踏み出し、自分の目指すキャリアを実現させてください。

研修医メッセージ

中部国際医療センターの研修は自主性が高く、かつ行った手技や検査に上級医からのフィードバックが得られる点が特徴です。当院以外にも自主性が高くやる気があれば多くの手技を経験できる病院はあると思いますが、当院での研修では更に自分が行ったことに対する評価や改善すべきところを学ぶことができるため、効率よく知識や技術を吸収できます。また日直、当直業務が週に1回程度ありますが、研修医1名と上級医1名がセットになって行っており、研修医1人で患者さんを帰宅させることはめったにありません。研修医が主となって患者さんを診ますが、状態の評価や今後の対応をどうするのかは上級医と一緒に考え進めていくため、安心して業務にあたることができますし、1人で診るよりはるかに勉強になります。是非一度見学に来ていただき、当院のよさを実感していただければと思います。

研修スケジュール

| | クール | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|-----|-----|---------|---------|---------|---|---|---|---|----------|--------|-------|--------|----|----|
| 1年次 | | 内科 28週 | | | | | | | 救急部門 12週 | 小児科 4週 | 外科 4週 | 精神科 4週 | | |
| 2年次 | | 産婦人科 4週 | 総合診療 4週 | 地域医療 4週 | | | | | 選択40週 | | | | | |

救急当直研修は4回/月、1年次10カ月、2年次12カ月、合計22カ月実施する。

研修協力病院・施設

特定医療法人清仁会 のぞみの丘ホスピタル（精神科） 国立病院機構 長良医療センター（呼吸器内科） 社会医療法人白鳳会 鷺見病院（地域医療）
 社会医療法人厚生会 多治見市民病院（腎臓・リウマチ膠原病内科） 郡上市民病院（地域医療） 津保川診療所（地域医療）
 飛騨市民病院（地域医療）

後期研修・専門研修（予定）

中部国際医療センターでは、5領域の基幹プログラム（内科・皮膚科・麻酔科・救急科・総合診療科）、17領域の他基幹施設プログラムの連携施設となっております。
 【連携プログラム一覧】※他基幹施設プログラムで中部国際医療センターが連携施設

| 専門領域 | 内科 | 小児科 | 皮膚科 | 外科 | 整形外科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | 泌尿器科 | 脳神経外科 | 放射線科 | 麻酔科 | 病理 | 精神科 | 臨床検査 | 救急科 | 形成外科 | リハビリ | 総合診療 |
|------|----|-----|-----|----|------|------|----|-------|------|-------|------|-----|----|-----|------|-----|------|------|------|
| 指導医数 | 20 | 3 | 2 | 9 | 3 | 1 | 1 | 2 | 6 | 8 | 4 | 7 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 7 |
| 基幹施設 | ● | | ● | | | | | | | | | ● | | | | ● | | | ● |
| 連携施設 | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ |

| 専門領域 | 基幹施設 |
|------|---|
| 内科 | 岐阜大学、愛知医科大学、松波総合病院、岐阜市民病院、岐阜県総合医療センター、多治見市民病院 |
| 小児科 | 岐阜大学 |
| 皮膚科 | 岐阜大学、名古屋市立大学 |
| 外科 | 岐阜大学 |
| 整形外科 | 岐阜大学、岐阜県総合医療センター |

| 専門領域 | 基幹施設 |
|-------|---------|
| 産婦人科 | 福井大学 |
| 眼科 | 名古屋市立大学 |
| 耳鼻咽喉科 | 岐阜大学 |
| 泌尿器科 | 岐阜大学 |
| 脳神経外科 | 岐阜大学 |
| 放射線科 | 岐阜大学 |

| 専門領域 | 基幹施設 |
|-------|--------|
| 麻酔科 | 岐阜大学 |
| 病理 | 岐阜大学 |
| 臨床検査 | 岐阜大学 |
| 救急科 | 岐阜大学 |
| 形成外科 | 愛知医科大学 |
| 総合診療科 | 岐阜大学 |

研修プログラムの目標

医師としての人格を涵養し、医学・医療の社会的ニーズを認識して日常診療で遭遇する疾病に適切に対応できるよう、基本的・専門的診療能力（態度、技能、知識）を身につける。

- 1) 医師としての良識と品格を身につける。
- 2) 安全で安心な医療を行うための基本的診療能力を習得する。
- 3) 地域の基幹病院としての役割を理解し、地域医療の現場を経験する。
- 4) 患者さんの立場に立った人間味のある医療を目指す。
- 5) 多職種とコミュニケーションをとり、チーム医療を推進する。
- 6) 国際的に活躍できる医療人の養成を目指す。

研修プログラムの特徴

当院は、地域医療に密着した医療現場で、小児から高齢者に至るさまざまな年齢層の日常的な診療から高度医療機器を利用した最新の医学診断にいたる幅広い分野の研修を行うため、総合診療能力を高めることができます。全科の支援体制が整備されているので、必要時には他科へのコンサルテーションが可能です。特に、2年目の研修に関して、選択研修期間を大幅に延長し、診療科の選択自由度が高く、選択履修の範囲を広げるために、例えば、耳鼻科+眼科で1クールといった、2週間ずつマイナーな診療科の症例経験を重ねることができる「マイナーバック制度」を選択することが可能です。研修医ごとにさまざまなパターンでのプログラムになり、従来以上に個別化された研修医オーダーメイドのプログラムにすることができます。

募集要項

応募資格：2026年3月に医師免許を取得する見込みである者
 募集人員：12名
 身分：常勤臨床研修医師
 給与：与：初期研修1年目 740万円/年（諸手当含む）
 初期研修2年目 860万円/年（諸手当含む）
 住居：等：オール電化1Kタイプマンション、インターネット、セキュリティ完備、当院より徒歩5分
 保険：等：健康保険加入、厚生年金、雇用・労災保険加入、医師賠償責任保険に病院で加入（個人加入は本人による）

連絡先

中部国際医療センター 臨床研修医募集係（担当：井村）
 電話番号：0574-66-1100
 fax：0574-66-1661
 E-mail：resident@cjmhc-hp.jp

交通案内

